

# 全自動洗濯機 L87480FL

## 設置マニュアル

<p>本体設置のお願い</p> <p><b>A</b></p>	<p>■本体の開梱</p>	<p>設置のためのキャビネット開口</p> <p><b>D</b></p>	<p>■キャビネットの開口</p> <p>■隣接キャビネットの開口</p> <p>■給水・排水・電源設備</p>
<p>設置床の補強</p> <p><b>B</b></p>	<p>■補強方法 - 1 コンクリート全面仕上げ</p> <p>■補強方法 - 2 根太+コンパネ仕上げ</p> <p>■補強方法 - 3 床用支持脚仕上げ</p>	<p>本体設置</p> <p><b>E</b></p>	<p>■ビルトインの手順</p>
<p>同梱部材の使用箇所 および部材リスト</p> <p><b>C</b></p>	<p>■同梱部材リスト</p> <p>■同梱部材の使用箇所及び接続方法</p>		

設置は必ず設置マニュアルに従って施工してください。  
適切に施工されていない場合は、故障の原因となり、保証期間内であっても修理費用が発生することがあります。

### 工事される方へのお願い

- 設置工事の前に、この設置マニュアルをよくお読みのうえ正しく設置して下さい。  
電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しないで下さい。漏電やショートによる感電火災の原因になります。
- プラグの刃及び刃の周辺にほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込んで下さい。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電火災の原因になります。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明下さい。この説明書は必ずお客様にお渡しいただき、取扱説明書・保証書とともに保管いただくように依頼して下さい。
- 本体設置時に分解をしないで下さい。

●ここに示す注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。  
絵表示の詳しい説明は下記のとおりです。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。
		この絵表示は、してはいけない『禁止の行為』内容です。
		この絵表示は、必ず実行いただく『強制指示の行為』内容です。

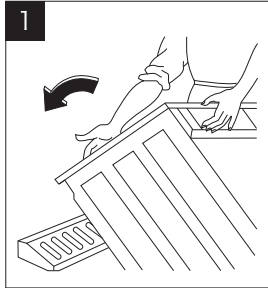
	<b>警告</b>	<p>設置工事は、設置マニュアルに従い確実にこなして下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●設置工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 電源は200V・20A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置すること。 また、電源プラグ(250V・20A)に合った専用コンセントを単独で使用して下さい。</li> <li>●電源回路の容量不足や据付工事不備があると感電、火災の原因になります。 電気配線工事は、電気設備技術基準等関連法令規則等に従って必ず「法的有資格者」が行なって下さい。</li> <li>●接続固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。</li> </ul> <p>アース工事は、電気設備技術基準等関連法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行なって下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アースが不完全な場合は、故障や漏電のときに感電のおそれがあります。</li> </ul> <p> 絶対に分解絶対に分解・修理・改造を行なわないで下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災、けが、感電の原因になります。</li> </ul>
	<b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水滴がかかる所、地下室等、湿気が大量に発生する場所には絶対に設置しないで下さい。 絶縁不良、サビ、接触不良が発生し、故障いたします。また、感電や漏電による火災のおそれがあります。</li> </ul>

本体設置前の準備（輸送用部材の取り外し） **!** 本設置マニュアルに従い必ず行ってください。

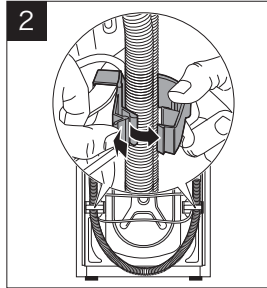
# A

## 本体の開梱

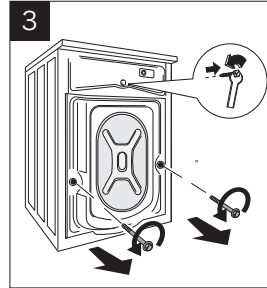
- △ **注意〔重要〕** 設置前に必ず輸送用部材を取り外してください。輸送用部材の取外しをしていない場合、故障の原因となります。
- △ **注意〔重要〕** 取り外した輸送用部材は移設や引越しの際に必要なので、廃棄したり、失くしたりしないようにしっかり保管してください。
- △ **注意〔重要〕** 洗濯機の重量は約 80kgあります。事故や怪我の防止のため、持ち上げる際や、移動時には十分に注意してください。



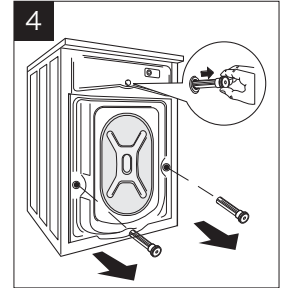
1 運送箱を完全に解いてから洗濯機を寝かして、機械の下にあるポリスチレンのベースを取り除いてください。



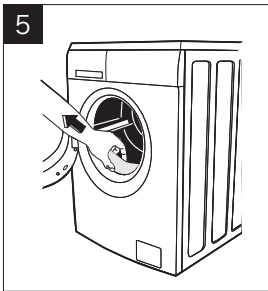
2 洗濯機の後ろにある電源コードと排水ホースをホルダからはずして下さい。



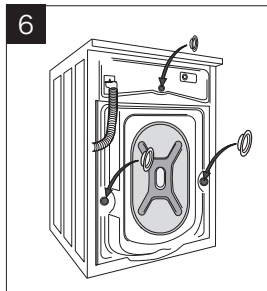
3 本体を起し、必ずドラムを固定している輸送用ボルト3点を、付属しているスパナで取外してください。



4 輸送用ボルトを外した後、固定ピンを全て取外してください。



5 ドアを開けて、ドラムに入っているポリスチレンの梱包材を取ります。



6 空いている3つの穴に目隠しキャップを取り付けます。

# B

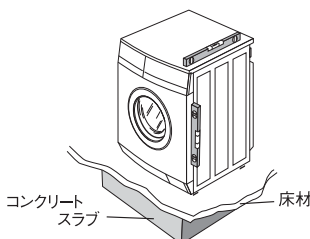
設置床の補強 **!** 下記方法で、必ず床補強の施工を行ってください。

## 補強方法

- 洗濯機の重量は約 80kgありますので、必ずコンクリートあるいは下記に示す方法で設置床下を補強してください。
- 設置床に防振マットを入れることについてご検討されている場合、弊社までお問合せください。  
(脱水時の振動や騒音の原因となる場合があります)
- 設置床面は後で本体を引きだせるよう、水平・平坦に仕上げてください。(段差をつけないでください。)

### ■補強方法ー1 コンクリート全面仕上げ

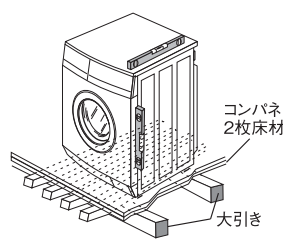
床下全面をコンクリートで仕上げる場合



**!** コンクリートスラブと床材は密着していること

### ■補強方法ー2 根太+コンパネ仕上げ

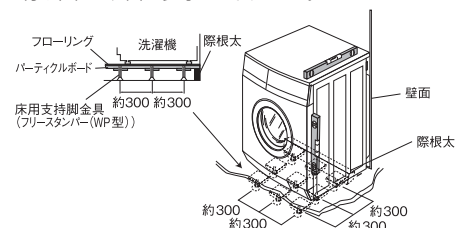
木造床下を補強する場合根太を5~6本用いて補強し、コンパネ2枚張りで仕上げる。



**!** 根太と床材が密着し、また、根太の上に本機の調整脚が載るようにしてください。

### ■補強方法ー3 床用支持脚仕上げ

マンションなどの置床の場合、設置する床下を、床用支持脚仕上げ（フリースタンパー（WP型））9本で補強します。金具の取り付け位置は、図を参考にしてください。



**!** フリースタンパーは機械の真下に9本均等に配置してください。



## 同梱部材の使用箇所および部材リスト

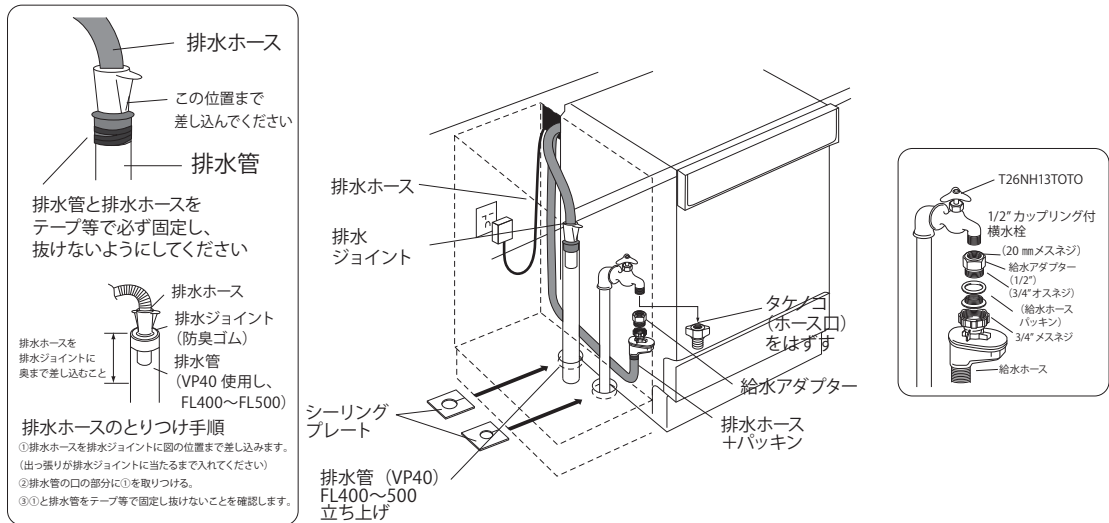
# C

- 設置前に本体に同梱されている部材を確認してください。
- 万一使用方法、使用箇所がわからない部材があっても廃棄せず大切に保管しておいてください。

### 同梱部材リスト

排水ホース ジョイント	給水 アダプター	シーリング プレート 3枚セット	取扱説明書 (保証書)	目隠しキャップ 大×2 小×1	ホース バンド 日本では基本的に未使用	スパナ
○	○	○	○	○	○	○

### 同梱部材の使用箇所及び接続方法



## 設置のためのキャビネット開口

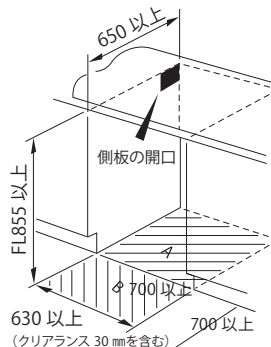
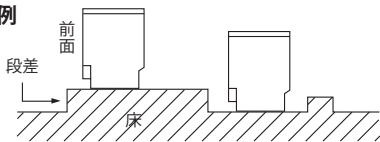
❗ 本体の背面への給排水設置は行わないでください。

# D

### キャビネットの開口

- 本体設置床面Aと機械前床面Bは同一レベル面(段差がないよう)に仕上げてください。本体を引き出せず、ご修理を行えない事があります。また、脱水時の振動で本体が動く場合があります。

禁止例



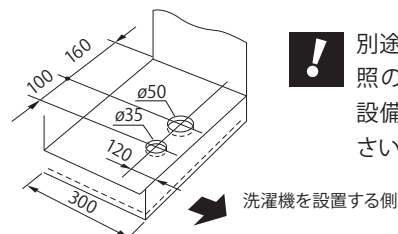
❗ 本体を隣接キャビネット / 天板 / 床にコーキング剤等で固定しないでください。

❗ カウンターの高さにご注意ください。(FL~855以上)

### 隣接キャビネットの開口

- 給排水管の設置は必ず左右いずれかのキャビネット内で、ご使用者の手の届く位置に設置してください。

❗ 設置を本体右側に設ける場合、給水ホースが届かない場合があります。必要に応じて、別途給水ホースをご注文ください。(有料)



❗ 別途外形寸法図をご参照の上、給排水と電源設備の位置をご検討下さい。

# D

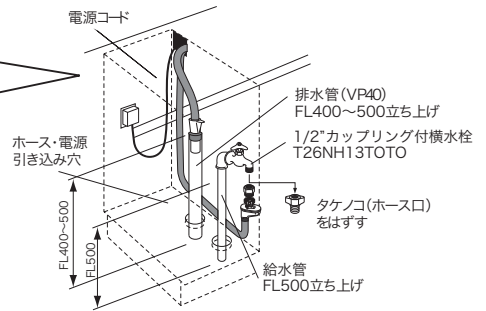
## 給水・排水・電源設備 - 1

**!** 給排水工事は水道法、建築基準法、各条例等の法規に準じて行ってください。

**!** 給排水工事は水道法、建築基準法、各条例等の法規に準じて行ってください。

**!** 電源は洗濯機1台につき1専用回路を設けてください。  
●単相200V20A、ブレーカ使用  
●アース付きコンセント  
パナソニック電工  
WKS294 (露出型)  
WN1932 (うめこみ型)

**!** アース工事を必ず行ってください。(D種接地工事)

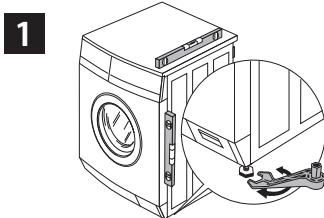


**!** 本体の水平調整は必ず行ってから設置してください。

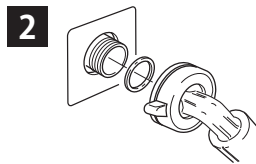
**!** 本体をビルトイン後、がたつきがある場合は必ず調整脚で水平調整を行ってください。

# E

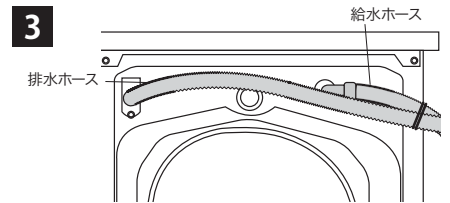
## 設置／ビルトインの手順



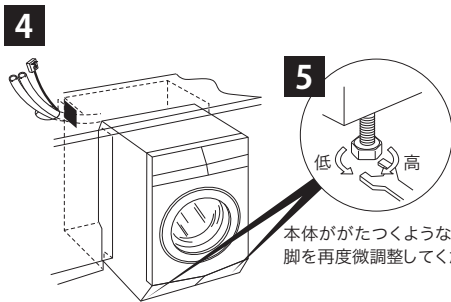
1 本体上面左右、前後に水平器を置き、本体が水平になっていることを確認します。手で前後左右に押し込んだときがたつきがある場合は、本体底部の調整脚で水平微調整を行ってください。(同梱のスナで調整が出来ます)



2 本体上部の取付口に給水ホースを取りつけます。(パッキンを確認して下さい) \*しめつけは手でしっかりと行ってください。

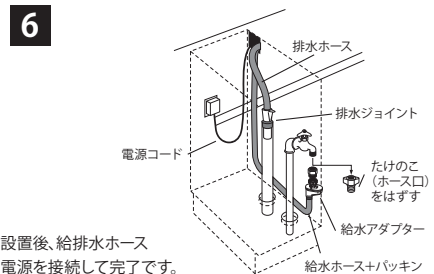


3 給水ホースは必ず左右どちらかに振ってください。(角度には特にご注意ください。) また、振る際には本体うしろの給水ホース取付け口を緩めてから行い、再度しっかりと取り付けを行ってください。その際、水漏れが発生しないように増し締めを行ってください。



5 本体ががたつきようなら前調整脚を再度微調整してください。

給排水ホース、電源コードを束ねて引き込み穴から隣接キャビネットへと引き込みます。それに従って本体を押し込みます。

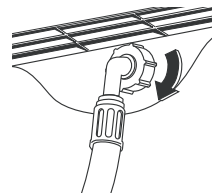
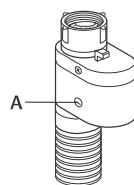


6 設置後、給排水ホース電源を接続して完了です。

**!** 設置完了後、必ず試運転を実施し、水もれ、漏電が発生していないことをしっかりと確認してください。

**●給水ホースを点検していますか？**

水漏れ検知装置が給水ホースの先端(水道蛇口側)についています。この装置は、長期間使用による水漏れを検知します。二重ホースの内側に水漏れを検知するとAのウィンドウに赤いサインが表示されます。給水ホースの本体側の先端は、左右自在に向きを変えられます。本体との接続部はねじ込み式になっています。設置の際には必ず水漏れがないように常に締め付けていることを確認してください。給水ホースは長期間使用しますと劣化により水漏れの可能性があります。必ず定期的に点検してください。



**!** 設置完了後、必ず試運転を実施し、水漏れ、漏電が発生していないことをしっかりと確認してください。